

かわにし事業ディスカッション事業調書

| | | | |
|--|---|---|--------------------------------------|
| 市民生活の視点 | 生きがい | 政 策 | 学ぶ |
| 施 策 | こころ豊かな児童・生徒を育みます | | |
| 事 業 名 | 小学校教育支援事業 | 所管部・課 | 教育振興部 学校教育室 学校指導課 |
| テ ー マ | 外国語教育を通じた小・中学校の連携 | 作成責任者 | 課長 若生 雅史 |
| 現在までの 事業の沿革 (社会背景等) | 事業開始年度：平成20年 根拠法令等：小学校学習指導要領 外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うため、外国人指導助手を各学校へ派遣し、指導体制を整備するとともに、教員研修を実施し、教員の指導力向上を図る。 | | |
| | 学習指導要領にある、小学校外国語活動の目標は「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う」ことである。昨今、子どもたちの「言語によるコミュニケーション能力不足」が指摘される中、本市においても、学習指導要領の目標を適切に達成すべく、コミュニケーション能力の素地を養い、国際感覚を有する子どもたちの育成をめざし、学習内容や指導方法の充実を図ることを、本事業の目的とする。 | | |
| 現在の事業概要 | 対象者及び 対象者数等 | 対象者 市内16小学校 対象者数 小学校5・6年生児童全員 | |
| | 事業の 実施内容 | 1 趣旨 外国語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うため、外国人指導助手や日本人支援員を各学校へ派遣し、指導体制を整備する。 2 実施回数 小学校5・6年生を対象に、年間35時間の授業時数のうち、外国人指導助手を年間1クラスにつき8回派遣した。 | |
| | 実施手法 (該当するものに ☑を記入) | 直接実施 | |
| | | ☑指定管理又は業務委託 | |
| 指定管理者・委託先の種類 (市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 ☑民間事業者 その他()) | | | |
| 補助・支援 | | 補助対象団体等の種類 (市外郭団体 地域(地縁団体等) NPO法人 その他()) | |
| その他 () | | | |
| コスト | 平成25年度(予算) | | 内 訳 等 |
| | 事業費 | 5,474 千円 | 事業費の内 嘱託職員 人 千円 事業費の内 臨時職員 人 千円 |
| | 職員人件費 | 0 千円 | 職員構成 概算人件費 (平均人件費×従事職員数) 従事職員数 |
| | 合計 | 5,474 千円 | 従事職員 0 千円 正職員 人 再任用 人 |
| 事業費と職員人件費 の合計 (財源内訳) | 財 源 内 訳(千円) | | |
| | 年 度 | 総額(千円) | 一般財源 国県支出金 地方債 特定財源(都市計画税) 特定財源(その他) |
| | H22(決算) | 10,029 | 10,029 |
| | H23(決算) | 6,755 | 6,755 |
| | H24(予算) | 5,886 | 5,886 |
| H25(予算) | 5,474 | 5,474 | |

| | | 節区分 | 予算額 | 説明等 | | |
|-------------------------|---|------------------------------|---|---------|-------|-------|
| | | 平成25年度 事業費内訳 | 報償費 | | 30千円 | |
| 委託料 | | | 5,444千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | | | 千円 | | | |
| | 合計 | | | 5,474千円 | | |
| 現状の評価 | 活動指標 | 事業の成果を表わす数値 | 単位 | H22年度 | H23年度 | H24年度 |
| | | 意識調査「外国語活動は好きですか？」 | % | 83 | 87 | 90 |
| | 関連施策評価指標 | 施策評価指標 | 単位 | H22年度 | H23年度 | H24年度 |
| | | | | | | |
| | | 当該シートに記載する事業のみで、達成される指標ではない。 | | | | |
| 事業をめぐる課題 | <p>小学校外国語活動の目標は、「英語力の定着」ではなく、「コミュニケーション能力の育成」であることを、保護者を含め地域に周知させ、学級担任主導の授業の展開を図るよう、教員の意識を醸成することが課題である。</p> <p>また、小学校外国語活動と中学校の英語教育における、指導の流れを円滑に接続し、出前授業や交流会等により、中学校区内での小・中の教員の連携を深める必要がある。</p> | | | | | |
| 今後の方向性、見通し等 | <p>教員の指導力の向上のためにも、「ネイティブ・スピーカーの活用に努めるとともに、地域の実態に応じて、外国語に堪能な地域人材の協力を得るなど、指導體制を充実すること」という学習指導要領の要点に基づき、外国人指導助手の派遣を継続する。このことにより、児童が生英語に触れる機会が増え、リスニング力の向上や、外国人とのコミュニケーションに対する躊躇や不安を和らげる効果が期待できる、と考えている。そしてグローバル化する社会に対応できるよう、川西のことも達し小学校段階から、充実した外国語教育の場を提供したい。</p> <p>また、小学校で「コミュニケーション能力の素地」を培い、中学校で「コミュニケーション能力の基礎」を築く、という一貫した目的のもと、今後は小・中の連携をより一層図る指導法やカリキュラムの連携について研究をすすめることが必要である。</p> | | | | | |
| 比較参考例 | (他自治体での実施事業例等) | | | | | |
| その他特記事項 | | | | | | |
| 事業推薦理由 (該当するものに☑を記入) | <input checked="" type="checkbox"/> 市民意見を取り入れることで業務課題の解消をめざす事業 市民を交えた検証が必要と思われる内部管理事業 民間委託・指定管理者制度・PFIの導入・民営化等(市民との協働を除く)の視点から業務の効率化・効果の向上が期待できる事業 上記には該当しないが取り上げてほしい事業 | | (理由) 小学校外国語活動推進事業について、今後は小・中の連携をより一層図る指導法やカリキュラムの連携について研究を進めることが必要であり、市民意見を聞き、事業の改善に取り組んでいきたい。 | | | |